

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年11月20日

計画の名称	高山市における循環のみちの実現(防災・安全)(重点計画)														
計画の期間	平成31年度～令和05年度(5年間)										重点配分対象の該当	○			
交付対象	高山市														
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費(百万円)		合計(A+B+C+D)		20	A	20	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30末	R3末	R5末
1	風水害等による停電時に必要な非常用発電機の整備率を0%(H30末)から100%(R5末)に増加させる。			
	非常用発電機整備率	0%	50%	100%
	設置済み箇所数/設置すべき箇所数			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	高山市	直接	高山市	ポンプ 場	新設	下切中継ポンプ場非常用 発電機整備	非常用発電機設置 N=1式	高山市	■					5		-
	A07-002	下水道	一般	高山市	直接	高山市	終末処 理場	新設	宇津江処理場非常用発電 機整備	非常用発電機設置 N=1式	高山市	■					2		-
	A07-003	下水道	一般	高山市	直接	高山市	終末処 理場	新設	国府処理場非常用発電機 整備	非常用発電機設置 N=1式	高山市	■	■				2		-
	A07-004	下水道	一般	高山市	直接	高山市	終末処 理場	新設	久々野処理場非常用発電 機整備	非常用発電機設置 N=1式	高山市	■	■				2		-
	A07-005	下水道	一般	高山市	直接	高山市	終末処 理場	新設	新平湯処理場非常用発電 機整備	非常用発電機設置 N=1式	高山市		■				2		-
	A07-006	下水道	一般	高山市	直接	高山市	終末処 理場	新設	栃尾処理場非常用発電機 整備	非常用発電機設置 N=1式	高山市		■				2		-

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	高山市	直接	高山市	終末処 理場	新設	朝日処理場非常用発電機 整備	非常用発電機設置 N=1式	高山市			■				2		-	
	A07-008	下水道	一般	高山市	直接	高山市	終末処 理場	新設	平湯処理場非常用発電機 整備	非常用発電機設置 N=1式	高山市				■				3		-
												小計							20		
											合計								20		

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

高山市水道部下水道課にて評価を実施

事後評価の実施時期

令和6年11月

公表の方法

高山市ホームページにて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道施設の非常用発電機を整備したことにより、停電時などにおける汚水の処理機能が確保され、災害対策の強化に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

今後も、重要な下水道施設の被災を未然に防ぐ「防災」、被災を想定して被害の最小化を図る「減災」を組み合わせた総合的な災害対策を進め、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な水環境の創造を目指す。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	非常用発電機整備率		
	最 終 目標値	100%	目標達成
	最 終 実績値	100%	